



絵には様々な見方があります。自分なりの見方をワークシートによる鑑賞を通して考え・感じてみてください。

葉祥明は空気を描く画家とも言われています。  
あなたはどんな空間を感じますか……

●ある絵本の一場面です。



・絵本のタイトルはなんでしょう。

・ホッキョクグマの兄弟です。  
2匹の名前はなんでしょう。

・この作品は北極に住む生き物たちも登場します。あなたが一番、気になる生き物はなんでしょうか。

\*この絵本はそれぞれの生き物が語ることの背景に環境問題があります。冒険物語を楽しみながら、地球とそこに住む生物に心を寄せてください。

●月刊誌『誌とファンタジー』に掲載された作品です。

・何と言うタイトルの絵本でしょう。

・この雑誌は「詩」に絵を添えるかたちで構成されています。あなたなら、この絵にどんな詩を読みますか？



- 「思いは美しい光となって」という冊子の表紙絵です。



\*この冊子は1995年6月に「私とアムネスティ」という講演会を行った際の記録です。

アムネスティ・インターナショナルは、1961年に発足した世界最大の国際人権NGOです。人権侵害のない世の中を願う市民の輪は年々広がり、今や世界200カ国で1,000万人以上がアムネスティの運動に参加しています。

・葉祥明が子供時代から気になっていたことは何でしょうか。

・葉祥明の「大変化」のきっかけとなったのは何でしょうか。(ヒント：1986年の出来事)

・当時の会場から「差別はどこからくる」という質問がありました。当時から現在に至るまで様々な「差別」が問題となっています。葉祥明さんは「違いよりも共通のものを感じればよい」と言っています。あなたは、差別がどこからきて、どうしたらなくなると思いますか？お友達や、家族と話しをしてみましょう。

\*葉祥明さんは、様々な題材の絵本を描いています。しかし、どの作品にも「愛」や「優しさ」「自分らしさ」を大切にしたいというメッセージを読み取る事ができます。

美術館で本物の作品を観て、その世界感を感じてください。